

J T B 総合研究所は1月17日、昨年10月に実施した第5回「東日本大震災後の生活行動や消費の変化に関する調査」の結果を発表した。それによると買い物や旅行など消費控えの動きは半年前よりも弱まっている。同調査を抜粋して紹介する。

図1 最近の日常生活での行動は、地震が発生する前と比べて何か違いがあるか — 1年半後 —

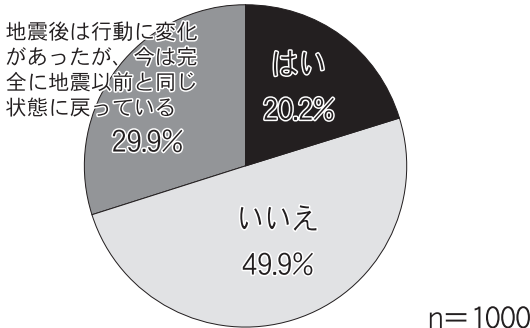


図2 最近の日常生活での行動は、地震が発生する前と比べて何か違いがあるか — 1年後 —

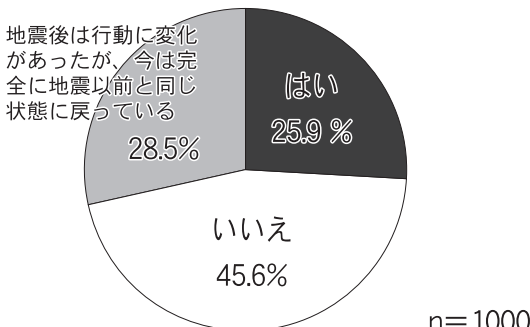
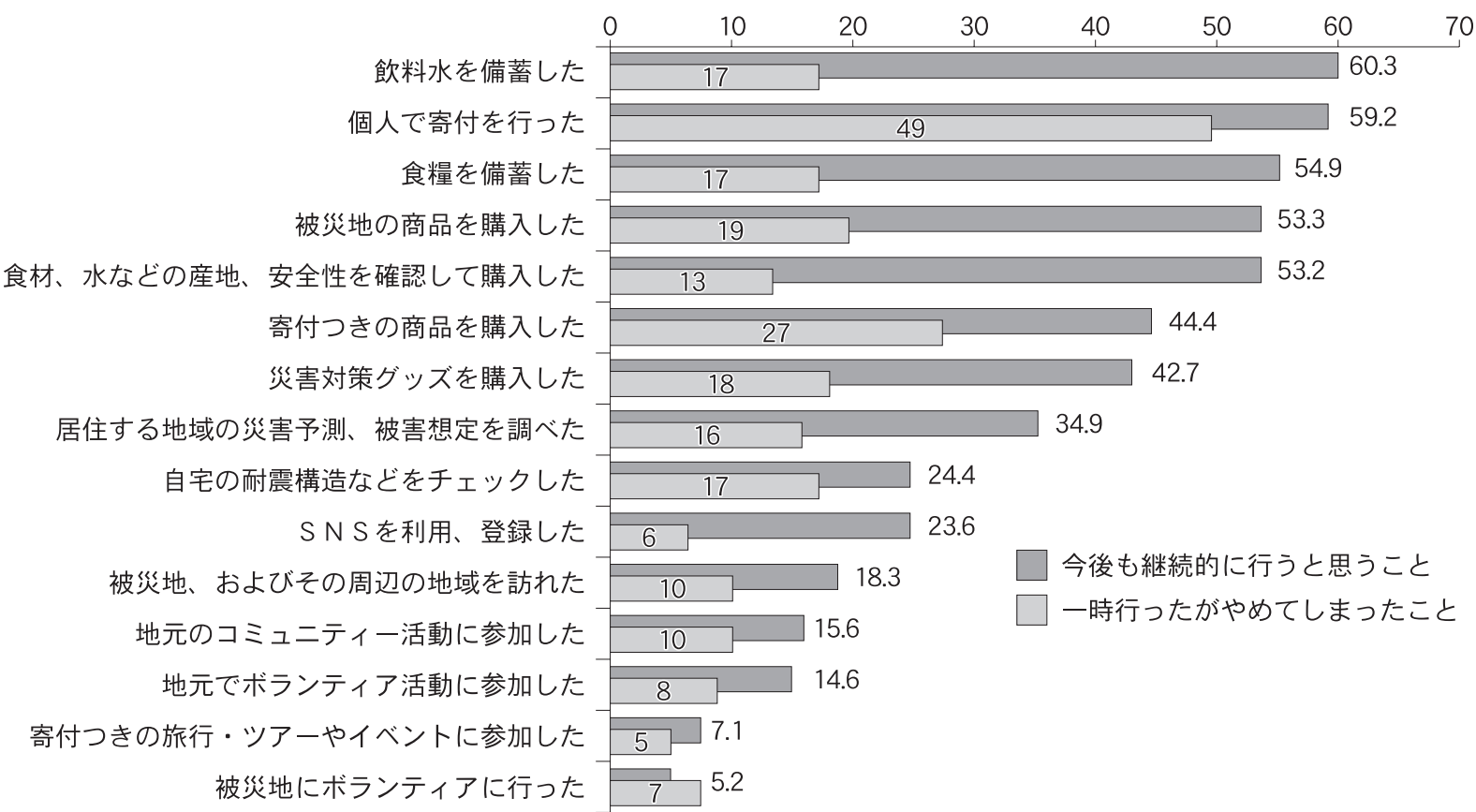


図3 震災後に行うようになったこと (n=851,487)

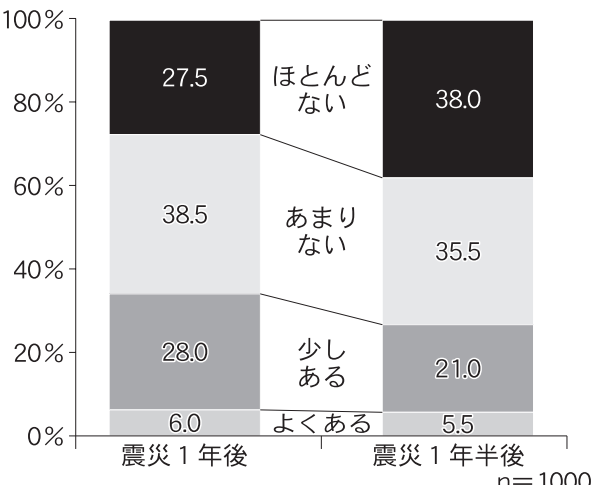


「東日本大震災後、日常生活での行動に変化があったか」という問いに対して、約5人に1人にあたる20.0%が「最近も地震発生前と比べて変化したまま、元に戻っていない」と回答している＝図1。

前回調査＝図2＝の25.9%と比較すると下がってはいるが、1年半を経てもまだ一定の人々の行動に変化が残っていることから、いかに東日本大震災が日本人にとって大きな出来事だったかが分かる。

震災後に初めて行うようになったことの中で、「今後も継続して行うと思うこと」と「一時行ったがやめてしまったこと」は何かという質問をした＝図3。「飲料水を備蓄した」「被災地の製品を購入した」といった行動は「継続」の割合が高いと同時に、「やめた」の割合は低く、日常の行動として定着した感がある。一方で「個人で寄付を行った」は「継続」「やめた」それぞれ割合が高く、備蓄などの防災対策や消費による被災地支援ほどは広く定着していないことが分かった。

図4 最近、買物や外食、外出、旅行などをためらったり、控えたりすることがあるか



「最近、買い物や外食、外出、旅行などをためらったり、控えたりすることがあるか」という質問には、「ほとんどない」と答えた人が、半年前の調査より10%以上増加し、「あまりない」も加えると約74%となり、消費控えの動きが弱まったことが分かる＝図4。

消費や外出、旅行を控える人の割合は減少したが、それでも「少しある」「よくある」を合わせると26.5%と、4人に1人程度は「控える」と回答している。

そこで、「控える」と回答した人に対して、その理由を聞いたところ、地震や放射性物質の影響は半年前の調査と比較すると減少し（地震・余震が不安22.6%→16.2%、放射性物質の飛散が不安20.0%→14.0%）、消費税や将来への不安、教育費などの割合が増加した（自分や家族が将来的に安定した収入が得られるか不安34.7%→39.6%、消費税増税の可能性が20.0%→26.8%、子供の教育費などにお金がかかる14.7%→19.6%）＝図5。

図5 買物や外食、外出、旅行などをためらったり控えたりする理由

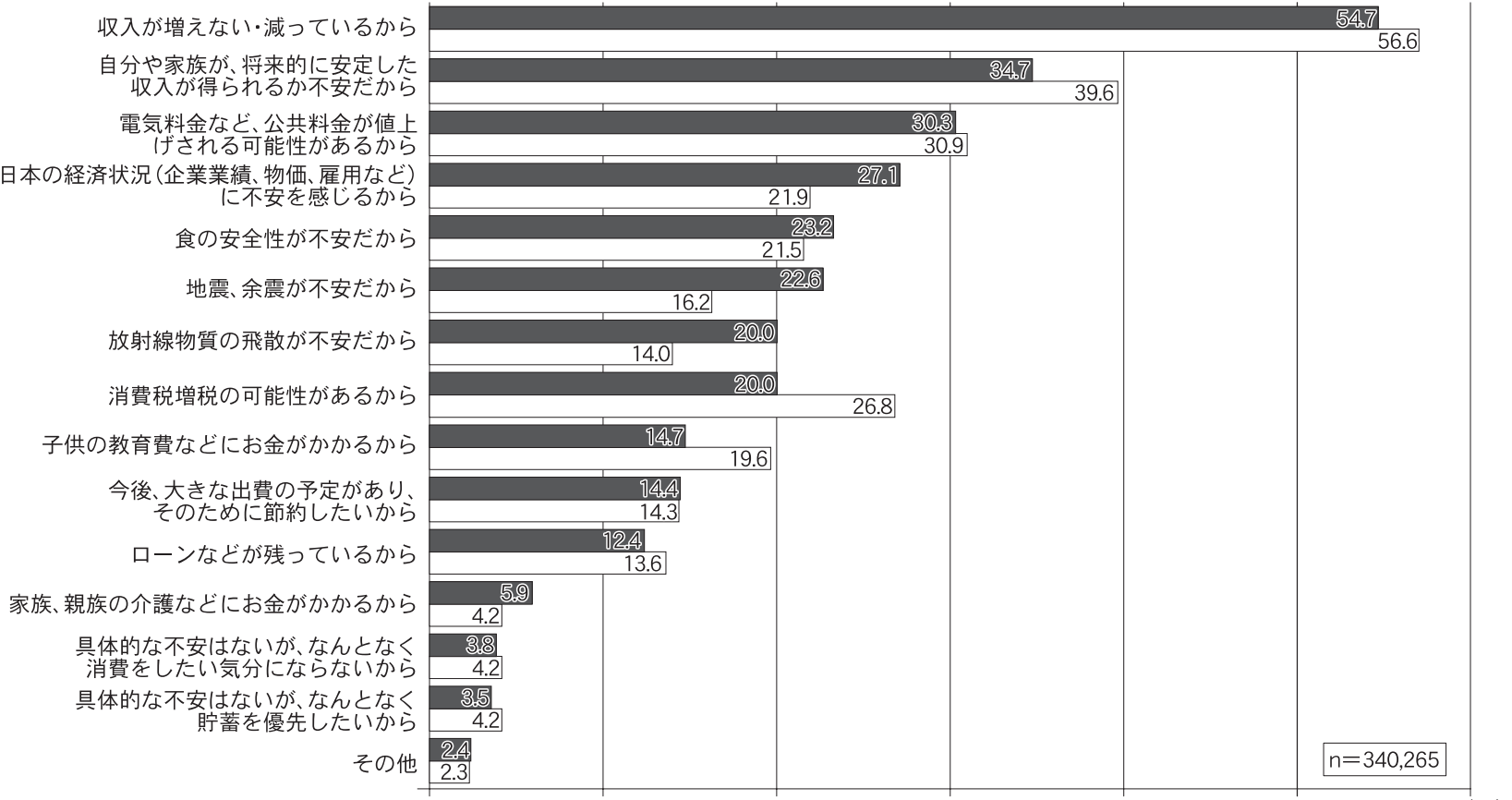


図6 2012年の夏の旅行が例年と違ったこと

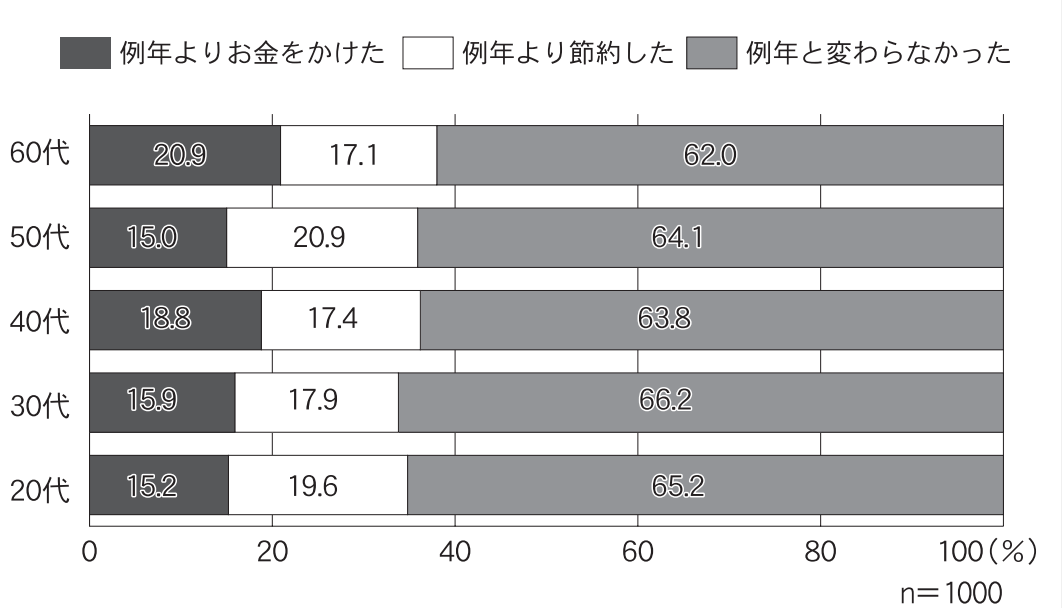
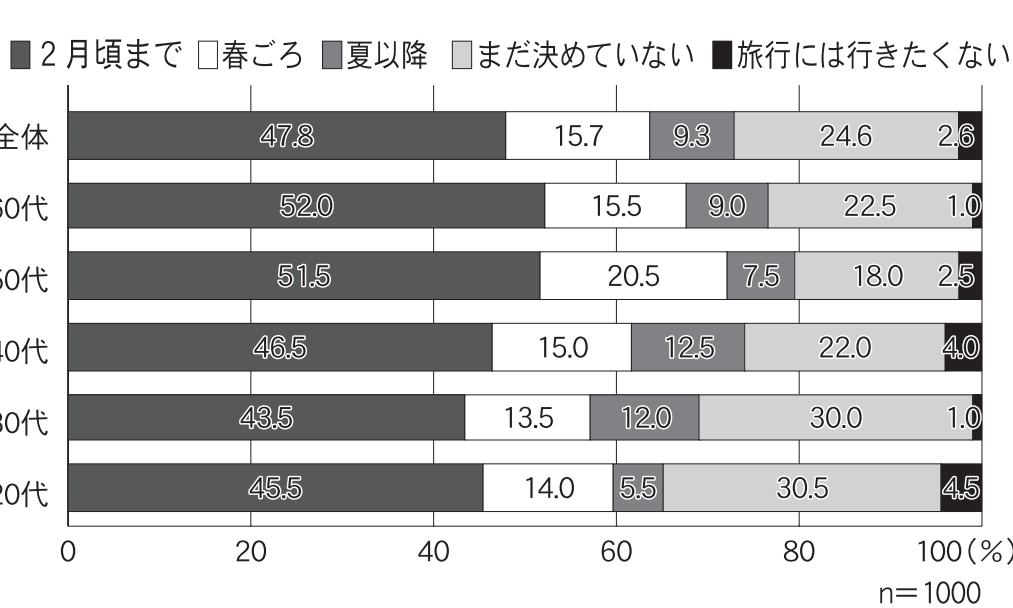


図7 次の旅行の時期



熟年層の最近の旅行行動を探るために、「2012年の夏の旅行が例年と違ったこと」という質問をしたところ、60代では例年の旅行よりも「お金をかけた」と回答した人の割合が他の年代よりも高かった＝図6。

お金をかけた内容としては、「いつもより長く旅行へ行った」「娘や孫を連れていったので、お金がかかった」「被災地支援のために、現地で土産などを多く買った」などの回答があがった。団塊世代の定年退職による、旅行の長期化、三世代旅行の増加などの兆しと言えるかもしれない。

次の旅行については「2月頃までに」と考えている人の割合がどの年代でも約半数となり、「旅行に行きたくない」と回答した人の割合は最も多い20代でも4.5%に留まった＝図7。何も障害がなければ多くの人が旅行への意向を持っていることが、この回答からも伺える。

次に、旅行に出かける手段の一つとして、ドライブ旅行の頻度について聞いたところ、60代では「年に3回以上する」と回答した人が23.0%と全年代で最も高く、次いで50代の20.0%となった＝図8。60代は戦後のモータリゼーションをけん引した世代でもあり、車との親和性が高いのだろう。

一方、車離れ世代とも言われる20代は、「年に3回以上する」の回答者は17.5%で、60代、50代に続き3位。全ての若者が車から離れているわけではないようだ。ただし「全くしない」という割合が他の年代に比べ飛び抜けて高く、ドライブ旅行をする人としいない人の二極化が生じている。

ドライブ旅行の平均的な移動時間は、年代が上がるにつれて長くなる傾向が見られた＝図9。60代では2時間以内の移動で旅行へ行く人は6%にとどまり、逆に8時間を超える人の割合が18.5%となった。

図8 宿泊を伴うドライブ旅行の頻度

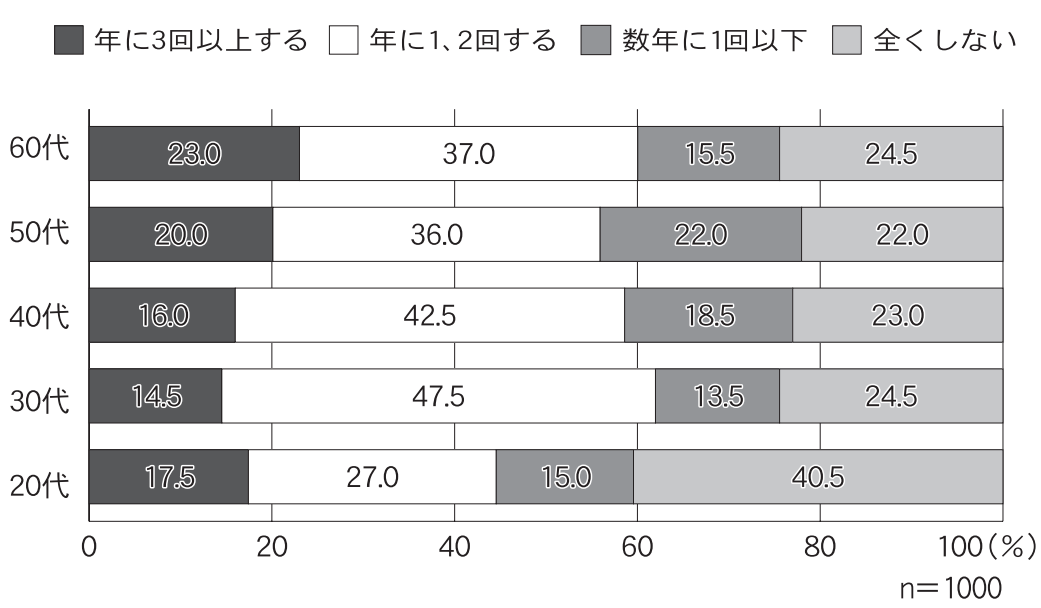


図9 ドライブ旅行の主な移動時間

